

解答・解説

英検 2 級過去問 読解問題③

- 2005 年度第 2 回～2003 年度第 3 回
- 読解問題 [第 4 問(B)(C)] ×12 題

[B]**全訳 慎重な言葉の処置**

今日の国際化された世界では、ますます多くの人々が、彼ら自身と彼らの家族にとってより良い生活を求めて、他の国へと移動するようになっている。移住者たちが直面する主要な問題の1つが、外国語に対処することである。現在アメリカ合衆国のおよそ2,100万人の人々が、英語をわずかししか話せないか、全く話せないと推測されている。この英語の能力の欠如は、移民たちが医療を必要とする際に大きな問題を引き起こす可能性がある。

アメリカの法律の下では、医師は言葉の問題を理由に患者の治療を拒否することができず、その上病院もまた、通訳を見つけて通訳料を支払う責任を負うのである。プロの翻訳者が利用できる場合でも、料金が高くつくことが多い。時には医師が患者の家族や病院職員に通訳を頼むが、両方の言語について十分な知識のない人々は間違ふこともあり得る。場合によっては、これは医師が患者に間違った処置を与えることにつながりかねない。

医師の中には、彼ら自身の独創的な方法を考え出している者もいる。ユタ州ソルトレークシティのある病院は、地元の教会の若い宣教師をボランティア通訳として使っている。これらのボランティアは、外国にある自分たちの教会で働いて過ごしたことがあるので、いろいろな外国語を上手に話す。同様に、カリフォルニア大学に関するプロジェクトが、医師と患者の間のスペイン語でのコミュニケーションの支援を現在行っている。プロジェクトのスタッフは、電話やテレビ会議を通じて通訳に24時間アクセスできるようにするために、カリフォルニアの貧しい農村地域の医師とともに働いている。

しかし専門家によれば、最も効率的かつ低コストの解決策は、医療スタッフを訓練して通訳にすることである。医療通訳になるには少なくとも100時間の訓練を必要とするが、この訓練なしでは、病院にとってきわめて高くつく過失を犯すこともあり得る。ある事例では、フロリダの女性が1つの単語の誤訳のために負傷を受け、病院を告訴した。病院は、彼女に7,100万ドルを支払うよう命令を受けた。おまけに、多くの英語を話さない人々は、すでにとっても具合が悪くなり高価な緊急治療を要する事態にならないと、病院を訪れないのである。もしより多くの熟練した通訳を利用できるようになれば、そのような患者ももっと早くから病院に来て、より安価で治療を受けるようになるだろう。

37**3**

質問の訳 —— 英語を話すことができないことは

- 選択肢の訳 ——
- 1 アメリカ合衆国全土においてだんだん少なくなっている。
 - 2 移民がアメリカの病院で仕事を得ることを困難にする。
 - 3 アメリカ合衆国の移民が病気にかかったときに深刻な問題になりうる。
 - 4 多くのアメリカ合衆国の移民が自分たちの故郷の国へ戻る原因となっている。

解説 —— 第1段落の最後の文から正解が 3 だとわかる。設問の Not being able to speak English は、本文では This lack of English ability となっており、この This はその前の文で述べられているアメリカの移民の英語力不足を指し示している。

38

④

質問の訳 ——— 家族や職員は、通訳をするとなぜ時々問題を引き起こすのか。

- 選択肢の訳 ———
- 1 彼らは間違いを犯すことを心配しすぎているから。
 - 2 彼らは疲れていて、よく集中することができないから。
 - 3 彼らにはきちんと仕事をするだけの十分なお金が払われていないから。
 - 4 彼らがそれほどよく両方の言語を知っているというわけではないから。

解説 ——— 第2段落第3文に家族やスタッフに頼んだ場合、彼らが両方の言語に通じていないと間違いを犯すことがあること、次の第4文ではそれが間違った処置につながることもあと記されている。

39

①

質問の訳 ——— ユタ州の病院が通訳を見つける1つの方法は何か。

- 選択肢の訳 ———
- 1 自分たちの教会のために海外で働いていた人々から手助けを得る。
 - 2 医療通訳を勉強させるためにボランティアを他国に行かせる。
 - 3 以前通訳を手配したことのある医師に援助を依頼する。
 - 4 電話やテレビ会議を通じて通訳を使う。

解説 ——— 第3段落第2文にユタ州ソルトレークシティの病院が宣教師をボランティア通訳として使っていること、その次の第3文に宣教師たちは海外の教会で働いていたので外国語が話せることが書かれている。

40 解答

④

質問の訳 ——— フロリダの病院が7,100万ドルを支払うよう命じられた相手は

- 選択肢の訳 ———
- 1 患者の通訳をするために雇われた新しい医療スタッフである。
 - 2 病院スタッフを多くの言語で訓練した通訳である。
 - 3 高価な救急治療を必要とした英語を話さない人々である。
 - 4 1つの単語が誤訳されたために傷を負った患者である。

解説 ——— 第4段落第3文で誤訳が元で負傷した女性が病院を告訴したこと、次の第4文で彼女に7,100万ドル払うよう命令が下されたことが書かれている。ちなみにタイトルの“Treating Words with Care”は「注意深さを持って言葉を取り扱うこと」といった意味だが、Treating は「医療的な処置をすること」、Care は「介護」に引っかけた double meaning (二重の意味) になっている。

[C]**全訳 驚くべき生存者**

寒冷な天候の中で凍りついた動物を想像してみよう。そして暖かくなると、その動物はただ解凍されて通常の生活に戻る。これは何か SF 映画のことにように聞こえるかもしれないが、冬から春にわたってアメリカアカガエルにまさしく起こっていることなのである。カナダの多くの地域で見られるこのカエルは、冬が始まると自らを葉と土の中に埋める。地面が凍り始めると、それとともにカエルの体も凍る。

通常は、もし生きている生物が凍ると、その体内の細胞は破壊され、そして死に至る。では、どのようにしてアメリカアカガエルは生き延びるのか。その秘密は、カエルの体の細胞間の水分が凍っても、細胞内の水分は凍らないという事実にある。冬が始まる前に、カエルはその体内にでんぷんを蓄える。天候がより寒くなると、温度の低下により、カエルの体はこのでんぷんをブドウ糖に変える。次にこのブドウ糖は、カエルの細胞内の液体が凍る温度を低くする。その結果、細胞はかなりの低温でも凍らず、カエルが生存し続けることを可能にするのである。一部のアメリカアカガエルは、何か月もの間損傷を受けることもなく、心臓が完全に止まったまま、この凍った状態でいるのだ。

今研究者たちは、移植用の人間の臓器を保存するのに役立てるため、このアメリカアカガエルの秘密を応用したいと考えている。現在は、臓器は提供者の体から摘出された後、特別な液体に漬けられ、非常に低温で保存される。しかし、氷が臓器の細胞に損傷を与えるため、凍らせることはできない。この理由から、臓器は素早く使う必要があるのである。より長く臓器を保存する方法があれば、臓器移植を待っている人々の間で最良の組み合わせを見つけるのに、医師はより長い時間をかけることができるようになるだろう。

アメリカアカガエルについては、まだ科学者がわかっていないことがたくさんある。例えば、天候が暖かくなったとき、カエルが正確にはどのようにして自分自身を解凍することができるのか、そして実際には何がカエルの心臓を再び鼓動させるのかについて、解明する必要がある。しかし明らかなのは、この小さな生物を研究することによってわかったことが、近い将来人間にとって大きな利益をもたらす可能性があるということである。

41 解答 **③**

質問の訳 —— アメリカアカガエルが独特であるのは、それが

- 選択肢の訳 ——
- 1 凍った地面の上を簡単に動き回れるからである。
 - 2 春が始まるときに自分自身を葉や土の中に埋めるからである。
 - 3 その体が凍った後でさえ生き延びるからである。
 - 4 極寒の天候の中でさえ通常の生活を送るからである。

解説 —— 動物が凍ったまま生き延びるという SF 的な話で第 1 段落を導入し、それが wood frog に実際に起こることだと明らかにして、そのメカニズムを具体的に説明する第 2 段落へとつなげている。この話の流れをしっかり把握しよう。

42 解答 **①**

質問の訳 —— アメリカアカガエルの体で生産されるブドウ糖には、どんな効果があるか。

- 選択肢の訳 ——
- 1 寒冷な天候の中でカエルの細胞内の水分が凍るのを止める。

- 2 カエルの細胞間の空間の温度を低下させる。
- 3 カエルの細胞がより多くのでんぷんを生産する原因となる。
- 4 カエルの細胞がより多くの水分を生産するのを可能にする。

解説 —— 第2段落第6文で、ブドウ糖が細胞内部の液体が凍る温度（凝固点）を低くすること、第7文で、その結果細胞はごく低温でも凍結してしまうことが避けられると書かれている。

43 解答 ④

質問の訳 —— 研究者たちが、アメリカアカガエルの秘密を使って可能にしたいと考えているのは

- 選択肢の訳 ——
- 1 より素早く移植臓器を使うことである。
 - 2 より簡単に提供者から臓器を摘出することである。
 - 3 カエルから取った化学物質で移植臓器を解凍することである。
 - 4 移植用臓器を現在できるよりも長く保存することである。

解説 —— 第3段落は、第1文でカエルの秘密を人間の臓器の保存に利用したいと言う主題を述べ、続く第2～第4文で臓器は現在冷凍できないので長く保存できないと説明、最後により長く保存できればより良い組み合わせを待つことができると締めている。

44 解答 ②

質問の訳 —— 科学者たちがアメリカアカガエルについて探り出したいと思っている1つのことは何か。

- 選択肢の訳 ——
- 1 それが春に凍るかどうか。
 - 2 それが解凍されるとき、どのようにしてその心臓が再び鼓動し始めるのか。
 - 3 寒い天候の中でその体のどの部分が凍るのか。
 - 4 冬の終わりに解凍されるとき、なぜそれほど長い時間がかかるのか。

解説 —— 第4段落第1文で、カエルに関してまだ科学者が理解していないことがたくさんあると述べ、次の第2文でその例として、暖かくなったときに心臓を再び鼓動させるものについて研究が必要だと述べられている。

45 解答 ①

質問の訳 —— 以下の文のうち正しいものはどれか。

- 選択肢の訳 ——
- 1 アメリカアカガエルは、その体内の細胞が死ぬのを止めるために、でんぷんを必要とする。
 - 2 研究者たちは、アメリカアカガエルの臓器を移植するための方法を見つけ出そうとしている。
 - 3 アメリカアカガエルは、冬の終わりに自分の体を解凍するために、細胞内のブドウ糖を使う。
 - 4 現在科学者たちは、アメリカアカガエルの体で起こる過程を、人間の臓器を移植のために準備するのに利用している。

解説 —— 第2段落で、冬の前に体内にでんぷんをため、それがブドウ糖に変化して細胞を凍結から守ることが説明されているので、1 が正解で、3 は間違い。第3段落では、このメカニズムを人間の臓器の保存に応用することが望まれていると書かれており、2 は間違い。また、現在研究段階なので、4 も間違い。

[B]

全訳 3D(立体)筆跡鑑定

世界の多くの地域において、サインは非常に重要である。クレジットカードで何かを買うにせよ、契約に署名するにせよ、サインはその人が誰であるかの証明として使用される。このため、本物のサインと偽物との違いを見分けることができることが不可欠となる。しかし、たとえ同じ人によって書かれたものでも、全く同じサインというものはない。これは、犯罪者が同じような筆記スタイルを使用することで、誰かのサインをまねすることが可能であることを意味する。

これまででは、使用されている筆遣いの順序と方向を慎重に分析することによって、専門家は本物のサインと偽物を区別してきた。しかし、この方法は必ずしも正確ではない。人は、常に全く同じように文字を書くわけではないし、時には筆遣いを明確に判読することが難しい。さらに、この従来の技術では、筆跡をより鮮明にするためにしばしば化学薬品が使用されるが、それは文書を傷つけかねない。現在では、イタリアの科学者のチームが、偽造サインが書かれた文書に損傷を与えずに偽造を見つける、より正確な方法を開発している。

この新しい手法では、個人のサインの 3D 画像がコンピュータで作成される。この画像はペン書きの順序と方向のみならず、サインが書かれたときに紙にかかった圧力も明らかにする。また、t の字の場合のように、1 本の線が別の線と交差したときに生じる隆起も 3D で表示する。この圧力と隆起のパターンは目で見てもわからないが、そのパターンは各々の人の筆跡に特有のものである。つまり、このパターンを正確に模写することは不可能なのだ。これらのコンピュータ画像を使用することで、偽物を発見することがはるかに簡単になると、科学者たちは言う。

彼らのチームは、何百ものいろいろな筆跡のサンプルを使って、自分たちの技術を検証した。また、自分たちの技術を数多くのいろいろな種類の文書に適用し、どれが本物でどれが偽物かを発見することができた。この新しい 3D 技術のおかげで、これからは、うまくサインを模写するのがはるかに難しくなると犯罪者は感じるようになることだろう。

37 解答 ③

- 質問の訳 ——— なぜ本物のサインを識別できることが重要なのか。
- 選択肢の訳 ——— 1 それぞれのサインは微妙に違っているから。
2 多くの犯罪者には類似した筆記スタイルがあるから。
3 サインが身元の証明として使用されているから。
4 正確にサインをまねするのは難しいと人々が感じているから。
- 解説 ——— 第1段落冒頭の文でサインが重要であること、第2文でその具体的な理由が記述されている。第3文の This は第2文を受けており、だから本物と偽物のサインの識別が重要なのだと続いている。

38 解答 ②

- 質問の訳 ——— サインを確認する従来の方法の1つの問題点は何か。
- 選択肢の訳 ——— 1 特定の種類の紙でしかうまくいかない。
2 時々文書に損傷を与える原因になる。
3 しばしばサインを見づらくしてしまう。
4 通常筆遣いの方向を無視する。
- 解説 ——— 第2段落第4文から正解が 2 だとわかる。同段落第3文を読めば、従来の方法は筆遣いを無視しているわけでも見づらくしているわけでもなく、サイン自体の問題だということがわかるだろう。

39 解答 ①

- 質問の訳 ——— なぜ、サインを分析するための新しい方法は、より正確なのか。
- 選択肢の訳 ——— 1 模写するのが不可能であるサインの特徴を表示するから。
2 以前に使用された偽物をコンピュータに記録させるから。
3 サインが書かれた日付を特定するから。
4 サインの1つの字だけに集中するから。
- 解説 ——— 第3段落前半でこの3D画像を使った新しい方法でサインの圧力と隆起がわかること、同段落第4文でそれらがそれぞれの人に固有の物であること、第5文で、だから正確に模写するのが不可能であることが書かれている。

40 解答 ④

- 質問の訳 ——— 新しい方法は
- 選択肢の訳 ——— 1 可能な限り多くのサインのサンプルを検証するよう、専門家に奨励するだろう。
2 より多くの筆記スタイルを分析することを可能にするだろう。
3 科学者が文書をオリジナルの状態に回復するのに役立つだろう。
4 これから犯罪者が多くのサインを偽造することを防ぐだろう。
- 解説 ——— 第3段落で新しい方法の偽物を見破る能力の高さを説明し、第4段落でその有効性を立証している。そして最後の文で、これからは犯罪者がサインを偽造するのははるかに難しくなると、締めくくっている。

[C]**全訳 走るために生まれてきた**

近ごろ、多くの人々が趣味として走ることを楽しんでいる。健康のために走っている人もいれば、マラソンやその他のスポーツ競技に参加するために走っている人もいる。しかし、そもそもなぜ人類はこの走る能力を発達させたのだろうか。この疑問を立ち止まって考える人はほとんどいないが、しかし今、2人のアメリカ人科学者が、我々の走る能力は大部分の人々が認識しているよりもはるかに重要なのだということを示唆している。走る方法を学ぶことが、実は人類の進化において恐らく主要な役割を果たしたのだと、彼らは主張している。

その2人の科学者、デニス・ブランブルとダニエル・リーバーマンによると、例えば馬など数多くの他の動物が人類より速く走ることができるので、これまで専門家たちは人類の進化における走ることの重要性を見落としてきたという。この理由から、走ることができることは非常に重要な利点であるとは思われてこなかった。しかし、この科学者たちが主張するのは、人類に関して特別なのはその走る速度ではなく、極めて長い距離を走り続けることができるという事実であるということだ。つまり、人類は実際に、シカや馬など他の多くの動物より遠くまで走ることができるということである。

この長距離を走る能力は、我々の体の多くの部分に反映されている。例えば、人類は、チンパンジーやゴリラのような他の霊長類よりもはるかに長い脚を持っている。この長い脚は、長距離を走るときにエネルギーを節約するのに必要である。人類の足の形と脚の筋肉の配置も、人類が効率的に走るのに役立っている。我々の細いウエスト、幅広い肩と小さな頭はすべて、我々が走る際バランスを保ち続けることをより容易にしている。

なぜ人類はこのように発達したのだろうか。最も重要な理由は、この走る能力は狩りをするときに有利であったということであった。より遠くまで走ることができたから、ハンターは自分たちより速い動物をそれが疲れ切るまで追いかけて、殺すことができた。これによって原始人類が定期的に肉を食べることが可能となり、そのより栄養豊富な食事が彼らを生き残らせ、より強靱な肉体になるのに役立ったのである。今日、長距離走はスポーツの一形態でしかないが、かつてそれは、恐らく人類が生き残るために最も必要な技術であったのだ。

41 解答 **④**

質問の訳 —— 2人のアメリカ人科学者によると、

- 選択肢の訳 ——
- 1 人々は、より速く走る方法についてもっと考える必要がある。
 - 2 走ることに基づくスポーツ競技は、大部分の人々が考えるよりも歴史が古い。
 - 3 走ることは、大部分の人々が認識している以上に、我々の健康にとって重要である。
 - 4 走る能力を獲得することは、人類の発達にとって重要だった。

解説 —— 第1段落第3文から第2段落第1文にかけて、人類の進化における走る能力の重要性が従来は見逃されていたという2人のアメリカ人科学者の主張が書かれている。本文の evolution 「進化」が、正解の選択肢では development 「発達」と言い換えられている点に注意。

42 解答 ①

質問の訳 ———— なぜ専門家は、これまで走ることの重要性を認めることができなかったのか。

選択肢の訳 ———— 1 何種かの他の動物ほど、人類は速く走らないからである。

2 初期の人類が長距離を走ることができたことを知らなかったからである。

3 速く走ることができることは、今や運動選手の利点にしかすぎないからである。

4 人類より遠くまで走ることができる動物がたくさんいるからである。

解説 ———— 第2段落第1文から正解が1だとわかる。本文の ... other animals ... can run faster than human beings が、正解の選択肢では Human beings do not run as quickly as some other animals. と言い換えられている点に注意。

43 解答 ②

質問の訳 ———— 人類がなぜ長い脚を発達させたかを説明する最もよい理由は何か。

選択肢の訳 ———— 1 長い脚は、我々が走る間バランスを保つのに役立ったから。

2 長い脚は、我々が効率的に長距離を走るのに役立ったから。

3 長い脚は、我々がスポーツ競技中にエネルギーを節約するのに役立ったから。

4 長い脚は、我々が他の霊長類からすばやく逃れるのに役立ったから。

解説 ———— 第3段落第2文に人の脚が他の霊長類よりもはるかに長いとあり、続く第3文にその利点が記述されている。バランスを保つのに役立ったのは腰、頭、肩幅などの部分であるので、1は間違い。

44 解答 ③

質問の訳 ———— 原始人類は、自分たちの走る能力からどのような利点を得たか。

選択肢の訳 ———— 1 食事に注意を払うことなく、より強くなることができた。

2 へとへとになることなく、他の動物から逃げることができた。

3 より多くの肉を自分たちの食事に加えることができた。

4 自分たちの食物を奪ういかなる敵でも殺すことができた。

解説 ———— 第4段落前半で走る能力が狩猟に有利であったこと、そして、同段落第4文でそのことが定期的に肉を食べることを可能にしたと書かれている。

45 解答 ②

質問の訳 ———— 以下の文章のうち正しいものはどれか。

選択肢の訳 ———— 1 原始人類は、マラソンのトレーニングのために狩猟の旅を利用した。

2 原始人類は、自分たちより速い動物を捕らえることができた。

3 栄養豊富な食事のおかげで、原始人類は現代人より強かった。

4 科学者たちは、原始人類の発達におけるスポーツの役割を見落とした。

解説 ———— 第4段落第3文で、長距離を走る能力のおかげで、自分たちより速い動物が疲弊するまで追いかけることができたことが書かれている。

[B]

全訳 数数を数える犬

ゴリラとチンパンジーには数の数え方を教えることができるということは、科学者にはしばらく前から知られていた。しかし現在、研究者であるブラジルのロバート・ヤングとイギリスのレベッカ・ウェストは、犬にもこの能力があることを示唆する実験を行っている。鳥やネズミといった多くの動物は、ある物の1つの山積みがもう1つの山積みより大きい場合、それを見分けることができるが、これは数を数えられることと同じではない。数を数えるためには、それらの動物は自分の前にいくつの物体があるかを正確に認識することができなければならない。

犬は数を数えられるという仮説を検証するため、ヤングとウェストは、生後5か月の赤ちゃんが数を数えることができるかどうか調べるためにほかの科学者が使用した実験を応用した。その実験では、4体の人形を赤ちゃんに見せ、次にそれをスクリーンで隠した。それから赤ちゃんに、その人形のうち1体を取り出されるところを見せた。この後に、スクリーンが上げられた。後に残っている人形の数が正しい数の3体であったときは、赤ちゃんは関心を払わなかった。しかし、スクリーンが上がる前に科学者がひそかにもう1体の人形を加え、後に残された数が4体になったときは、赤ちゃんは人形をじっと見つめた。これは、赤ちゃんは話すことはできないが、単純な計算はすでにすることができることを示唆した。

ヤングとウェストは11匹の犬に対して同様の実験を行った。しかし、人形の代わりに、彼らは犬用バスケットを使用した。結果は、赤ちゃんに対する実験で得られたものとまったく同じだった。数が予想されたものであったとき、犬は平静なままだった。しかし、数が異なっていたときは、犬は困惑している様子だった。

それでも一部の専門家は、犬が本当に数を数えることができるかどうかを疑っているが、ヤングとウェストは、犬の祖先のオオカミは野生で生き残るために数を数えることができる必要があったのかもしれないと主張している。例えば敵のオオカミの群れに出会ったとき、相手を打ち負かすことができるかどうかを判断するために、何頭のオオカミが目前にいるのかを正確に知ることには彼らにとって非常に重要だっただろう。ヤングとウェストの仮説が真実であると判明すれば、それは犬の飼主が長い間考えてきたこと——犬は多くの人々が考えているより頭が良いということ——を証明することになるだろう。

37 選択肢 3

- 質問の訳 —— ロバート・ヤングとレベッカ・ウェストが実験を行ったのは、
 選択肢の訳 —— 1 鳥とネズミが数を認識することができることを証明するためである。
 2 物の山積みがどれくらい大きいかを動物は見分けることができるという仮説を検証するためである。
 3 犬が物を数えることができるかどうかを解明するためである。
 4 ゴリラとチンパンジーが数の数え方を学習することができるということを証明するためである。

解説 —— 第1段落第2文から 3 が正解だとわかる。また、タイトルや文章全体の文脈からも、犬が数を数えることができるかがメインテーマだとわかる。全体の流れが把握できればほかの選択肢に引っかかることはないだろう。

38 読解

①

質問の訳 —— 生後5か月の赤ちゃんに対する実験では、赤ちゃんはいつ人形をじっと見つめたのか。

- 選択肢の訳 ——
- 1 現れた人形の数があるべき数と異なっていたとき。
 - 2 スクリーンの後ろに隠されていた人形の数正しい数であったとき。
 - 3 科学者が4体の人形を取り上げ、別のスクリーンの後ろにそれを隠したとき。
 - 4 科学者がスクリーンの後ろの人形の山に4体の人形を加えたとき。

解説 —— 第2段落で赤ちゃんに対する実験の詳細が説明されている。少し複雑な内容だが、単語を追って日本語に訳すのではなく、実験の流れを頭の中に映像で思い浮かべるのが素早く理解するコツ。

39 読解

③

質問の訳 —— ヤングとウェストの実験は、生後5か月の赤ちゃんに対する実験とどのように異なっていたか。

- 選択肢の訳 ——
- 1 後に残された物の数は、毎回全く同じであった。
 - 2 スクリーンの後ろの人形を見たとき、犬が困惑した。
 - 3 ヤングとウェストがスクリーンの後ろに隠した物が異なっていた。
 - 4 犬が予想した数を見たときの反応が異なっていた。

解説 —— 第3段落第1文から正解が3だとわかる。正解文にある The objects は赤ちゃんに対する実験では dolls、犬に対する実験では dog biscuits である。

40 読解

②

質問の訳 —— 数を数える能力はオオカミが何を知るのに役立ったと思われるか。

- 選択肢の訳 ——
- 1 彼らが戦わずに生き残ることができるかどうか。
 - 2 彼らが敵の群れとの戦いに勝つことができるかどうか。
 - 3 敵の群れのオオカミは何歳か。
 - 4 敵を打ち負かすのにどのくらい時間がかかるか。

解説 —— 第4段落の第1文に、オオカミには数を数えることができる必要があったという主張が、続く第2文にその具体的理由が書かれており、ここから正解がわかる。本文の defeat が正解文では win と言い換えられていることに注意。

[C]

金沢 フレデリック・ウィンズロー・テイラー

近代的な工場の発展に最も貢献した人は、恐らくフレデリック・ウィンズロー・テイラーであろう。しばしば科学的経営の父として知られるテイラーは、1856年にアメリカ合衆国フィラデルフィアの裕福な家庭に生まれた。学校では優秀な生徒で、特に数学とスポーツに秀でていた。ハーバード大学への入学を認められたが、視力に問題があったため通学することができなかった。数年後には視力がよくなり、彼はフィラデルフィアの工場で働き始めた。いろいろな工場で数年働いた後、彼は工場をより効率的にするためのアイデアを展開し始めた。

テイラーが仕事を始めたころ、ほとんどの熟練工場労働者は、自分が最良だと考える方法で商品を生産する職人であった。また、労働者の多くは、自分ができる量よりも少ない量しか生産していなかった。彼らは故意にそうしていた。1つには、どんなに生産量が少なくても、彼らに支払われる賃金は同じだったからである。しかし、それはまた、彼らがより多くの量を生産すれば、それにつれて多くの労働者が必要ではなくなり、彼らの何人かが職を失ってしまうことを恐れたからでもあった。テイラーが管理職になったとき、彼は制度を刷新することを決めた。

彼が最初にしたことの一つが「作業研究」の導入である。この中で彼は、それぞれの労働者がある作業を行うのにかかった時間を計った。最も速い方法がわかると、彼はすべての労働者にそれと同じやり方を使うよう教え込んだ。テイラーの基本的原則は、ひとりひとりが自分に最も適している作業を確実に行うようにすることであった。この理由から彼は、計画と訓練に対して責任を負う管理職と、実際にものを作ることに責任がある労働者を、明確に区別するように主張した。

テイラーの改革は劇的な効果をもたらし、時には労働者あたりの生産量が2倍になった。これにより、多くの労働者がより多くの金をかせぎ始めることにもなった。しかし、彼の改革は、それ特有の問題を引き起こした。多くの労働者がもはや必要とされなくなり、職を失った。またテイラーは、作業の多様性や労働者からのフィードバックの必要性といった、労働に関する重要な要素の多くを無視した。だが、テイラーの効率を増加させるための手法が、大量生産を可能にしたのだ。その意味において、彼のアイデアは近代経済を生み出す役に立ったのである。

41 42 (2)

質問の訳 —— なぜフレデリック・テイラーは大学に行かなかったのか。

- 選択肢の訳 ——
- 1 彼はスポーツをすることにもっと興味を持っていたから。
 - 2 彼は視力に関する障害を経験したから。
 - 3 家庭が貧しすぎて、彼を学校に送ることができなかったから。
 - 4 彼の夢は工場労働者になることだったから。

解説 —— 第1段落はテイラーの経歴について割かれており、第4文から正解が2だとわかる。stop A from doing「A が～するのを妨げる」の構文の理解と、from going が from going to university だとわかることがポイント。

42 解答 ④

質問の訳 ——— 多くの工場労働者が恐れたのは、もし彼らがより多くの商品を生産すれば、

- 選択肢の訳 ———
- 1 熟練職人に取って代わられるのではないかとということである。
 - 2 ほかの労働者よりも賃金が少なくなるのではないかとということである。
 - 3 商品の品質が低下するのではないかとということである。
 - 4 彼らの何人かが職を失うのではないかとということである。

解説 ——— 第2段落に、テイラーが工場で働き始めたころの工場労働者の様子が記述されている。第4文の内容が、選択肢4の内容と一致する。

43 解答 ②

質問の訳 ——— 管理職としてテイラーは、

- 選択肢の訳 ———
- 1 作業研究を自分たちで行う方法を労働者に教え込んだ。
 - 2 最も迅速な労働者の方法をまねることを労働者に指導した。
 - 3 労働者が計画に対して責任を負う制度を導入した。
 - 4 労働者ができる限り迅速に賃金を受け取れるようにした。

解説 ——— 第3段落はテイラーの改革、主に time studies に関する解説である第2文から正解が2だとわかる。同文の the same method は when 節の the quickest way を指している。誤答の選択肢にはこの段落の表現がいろいろ使われているので注意。

44 解答 ③

質問の訳 ——— テイラーの改革のマイナス面の1つは何であったか。

- 選択肢の訳 ———
- 1 工場が労働者に支払う賃金を減少させる結果をもたらした。
 - 2 アメリカの国外ではほとんど効果がなかった。
 - 3 労働者からのフィードバックが必要であることを無視した。
 - 4 労働者がより多様な作業をしなければならないことになった。

解説 ——— 第4段落の最初の2文でテイラーの改革の利点を挙げ、第3文で欠点もあったことに言及し、第4～第5文で具体的に説明している。最後の2文ではテイラーの改革を総合的に評価し、文章をまとめている。However Nevertheless など論理展開を表す表現に注目して文脈を把握しよう。

45 解答 ①

質問の訳 ——— 以下の文章のうち正しいものはどれか。

- 選択肢の訳 ———
- 1 テイラーは、管理職と労働者の責任を分離することの重要性を強調した。
 - 2 テイラーは、彼が管理職になった後に初めて、工場改革についてのアイデアを持ち始めた。
 - 3 テイラーの手法により、工場の大部分の労働者はより長い時間働かなければならなくなった。
 - 4 テイラーの改革の主要なねらいは、工場での仕事をよりおもしろくすることであった。

解説 ——— 第3段落の最後の文から正解が1だとわかる。改革のアイデアは工場で働いたときに持ち始め、管理職になって実行したので、2は間違い。選択肢3, 4のような内容の言及はない。

[B]**全訳 誤った記憶**

事故や犯罪が発生した時はいつでも、目撃者を探して彼らが見たことについて質問することが、警察がまず行うことの1つである。しかし人々の記憶はどれだけ信用できるのだろうか。過去数十年間にわたり、科学者たちはこの疑問について数多くの研究を重ねてきており、彼らはいくつかの驚くべき結論に出くわすことになった。

この分野における権威の1人が、ワシントン大学のエリザベス・ロフタスである。1970年代に、ロフタスと彼女の同僚は、「誤報効果」と彼女が呼ぶところのものの存在を証明する、数多くの実験を行ってきた。この「誤報効果」とは、事件が起こった後に与えられる間違っただけの情報によって人々の記憶が影響されうるという事実を指している。例えば、犯罪現場の青い車が白だったと教えられたら、多くの人々はそれを白かったと記憶し始めるのである。目撃者が思い出すことのすべてを信用することには慎重にならなくてはならないということを、このことは証明している。

さらに最近になって、ロフタスと彼女のチームは、人々に誤った記憶を与えることの可能性について研究を進めている。言い換えると、彼女たちは実際には決して起こらなかったことを人々に「記憶させる」ことを試みているのである。その可能性について検証するための、人々に自分たちの子ども時代の出来事を思い出すように頼む実験を、彼女たちは作り出した。その人々にはそれぞれ小冊子が与えられるが、それには3つの子ども時代に実際に起こった出来事と1つの虚偽の出来事の記述が含まれている。実際に起こった出来事の記述は親やその他の近い親戚から得られたものだが、虚偽のもの——デパートで迷子になったことについて——は研究者たちによって作り出されたものである。この小冊子を読んだ後、24人の被験者のうち7人が、虚偽の出来事がある程度覚えていると言ったのである。この7人のうち6人は、その後のインタビューでもこのことを主張し続けた。

他の研究者たちによって行われた最近の実験も、この結果を立証するものだった。とりわけ、人々がある出来事を想像するとき、後になってそれが本当に起こったのか起こらなかったのかについて混乱してしまうことがよくあるということを、こうした実験は示している。裁判において人々の出来事についての記憶を証言として使うことの危険性を、この研究は明確に示している。目撃者は必要ではあるが、彼らの言うことすべてを信用してしまわないよう気をつけなければならないのである。

37 解答 (4)

質問の訳 —— 事故や犯罪の直後、

- 選択肢の訳 ——
- 1 関係するすべての人々に対し、科学者たちが実験を行う。
 - 2 警察によって使用された方法について、科学者たちが研究を行う。
 - 3 記憶の研究を行った人々を、警察が探す。
 - 4 目撃者を探すことで、警察は何が起こったかを探り出そうとする。

解説 —— 第1段落の冒頭の文に、4と同じような内容が書かれている。本文と選択肢では当然違った表現をしているので、間違えた人はよく比較研究しよう。whenever, immediately は重要な単語だ。

38 解答 ③

質問の訳 —— 1970年代に、エリザベス・ロフタスと彼女の同僚が可能だと立証したのは

- 選択肢の訳 ——
- 1 自動車事故の目撃者が、一度は忘れてしまった詳細について思い出すのを助けることである。
 - 2 たとえそれを望んでいなくても、人々を説得して自分たちの車の色を変えさせることである。
 - 3 人々の記憶に影響を与え、出来事を不正確に思い出させることである。
 - 4 人々に虚偽の情報を与えることで、誤報効果は存在しないと証明することである。

解説 —— 1970s という数字は探しやすく、第2段落にそれを見つけることができる。この段落では、誤った情報を与えることで人の記憶をゆがめる「誤報効果」が説明されており、正解はこの内容を簡潔にまとめたもの。

39 解答 ①

質問の訳 —— 子ども時代の記憶に関する実験で、ロフタスと彼女のチームは何をすることができたのか。

- 選択肢の訳 ——
- 1 何人かの人々に、自分はかつてデパートで迷子になったことがあると信じ込ませること。
 - 2 参加したすべての人々の心の中に、誤った子ども時代の記憶を作り出すこと。
 - 3 子どもの頃起こった出来事を思い出せる人はほとんどいないと証明すること。
 - 4 近い親戚から与えられた記述のおよそ3つに1つが結局虚偽であるということを示すこと。

解説 —— 質問の主語 Loftus and her team が第3段落の第1文に発見できる。誤った子ども時代の記憶を作り出す実験の過程の中に、1の内容の記述がある。被験者全員に起こったわけではないので、2に引っ掛からないよう注意。

40 解答 ②

質問の訳 —— 研究者たちによって行われた記憶に関する最近の実験から、我々は何がわかるか。

- 選択肢の訳 ——
- 1 今日の裁判の大多数において、目撃者はもはや必要ではない。
 - 2 裁判で目撃者によって行われる証言は、常に信用できるとは限らない。
 - 3 将来、目撃者は裁判をもっとはっきり思い出すことができる。
 - 4 目撃者が真実を話すことはほとんどないので、彼らを裁判で使うべきではない。

解説 —— この文章のようなレポート記事では、最終段落にまとめがくることが多い。この段落の第3文とこれまでの話の流れから正解がわかる。最後の文に While witnesses are necessary とあるので、1と4は間違い。

[C]**全訳 水中の森**

過去、カナダの広大な森林は無尽蔵の資源と見なされ、木々は切り倒され、家具から燃料に至るまであらゆる用途に利用された。しかし、この伐採による損害がより良く理解されるようになると、カナダ政府は国の森林を保護するための措置をとった。今日では、より多くの木が植えられるようになり、木を切り倒すことのできない保護区域も作り出された。しかし、木材の需要は未だに高い。このことを念頭に、永遠に失われてしまったと一度は考えられていた森林を利用する方法を、トリトンというカナダの企業が開発した。

こうした「失われた森」は、人造湖の下に存在する。これら人造湖の多くは、発電の目的で作られたものだ。こうした湖を作り出すため、大きなダムが川谷に建設された。そしてダムの背後の地域には大量の水が溜まる。多くの場合、こうした谷を覆っていた森林は、ただ水の下に隠されている。しかし驚くべきことに、これらの湖で見つけられる木材は、多くの場合未だ良好な状態にあるのだ。これは冷たい水温と水中の酸素の不足が木の保存を助けるからである。本当に難しいのは、いかにこの木材を水中から引き上げるかである。

トリトンが考案した解答は、ソーフィッシュ（ノコギリエイ）と名付けられた遠隔操縦の潜水艇を使用して、木を回収することである。ビデオカメラを使って、操縦者はこの機械を木の根元まで誘導する。ソーフィッシュはまず、プラスチック製の大きな袋を幹に取り付ける。袋が空気で満たされた後に、ソーフィッシュは電動のこぎりを使って木を切り取り、そして切られた木は緩やかに水面に浮かんでくるのである。木は水から取り出され、そして乾燥される。

このアイデアは商業的な成功を収めそうだ。木材の品質が高いため、いい値段で売ることができる。さらに、世界中には何百万本もの木が湖の下にあることから、トリトンはソーフィッシュを他の企業に売ることができるだろうと考えている。しかし最大の利点は、トリトンも指摘しているように、水中から得られる木材が多ければ多いほど、他の場所で木を切り倒すことによって環境を破壊しなければならない必要性が小さくなることである。

41 解答 (4)

質問の訳 —— カナダ政府は

選択肢の訳 —— 1 永遠に失われたと考えられていた森林を利用している。

2 国の森林を無尽蔵の資源と見なしている。

3 木材の需要を増やすための措置をとった。

4 木材伐採が許されない区域を作り出した。

解説 —— 第1段落から正解がわかる。正解中の logging「伐採」は cut down の言い換えだが、第2文で this logging と前文 (trees were cut down ~) の内容を受ける形で使われており、知らなくても意味の推測は可能。

42 解答

④

質問の訳 —— カナダにおいて川にダムを建設する一般的な理由は何か。

- 選択肢の訳 ——
- 1 川の水の状態を改善するため。
 - 2 谷で伐採された木材を保存するため。
 - 3 谷を覆う木を川が覆い隠してしまうのを止めるため。
 - 4 発電に利用することのできる人造湖を造るため。

解説 —— 第2段落の第1文から正解がわかる。同文中の many of which の関係代名詞 which が、先行詞 man-made lakes を指していると理解できることがポイント。

43 解答

②

質問の訳 —— ソーフィッシュが木を切り取ってから間もなく、何が起こるか。

- 選択肢の訳 ——
- 1 操縦者が遠隔操縦で木を水面まで誘導する。
 - 2 空気で満たされたプラスチック製の袋によって、木が水面まで上げられる。
 - 3 水中の木を乾燥させるため、空気が幹にポンプで送り込まれる。
 - 4 水面まで木を引き上げることのできるよう、ロープが幹に取り付けられる。

解説 —— 第3段落でソーフィッシュが木を切り、湖から取り出す過程が説明されている。順番に読み進めながら、一連の作業を頭の中で絵にして思い浮かべて理解しよう。

44 解答

③

質問の訳 —— トリトンによると、水中の森の木を伐採することの利益の1つは何か。

- 選択肢の訳 ——
- 1 その木材を売ることによって得られるお金を、新しいダムの建設に使うことができる。
 - 2 他の企業が湖の中により多くの木を植え始める。
 - 3 それは他の場所で伐採される木の数が少なくなることを意味する。
 - 4 他の森林で木を伐採するよりも素早くより簡単である。

解説 —— 最終段落の最後の文に最大の利点として挙げられている。as Triton points out (本文) → According to Triton (質問文) の言い換えに注意。

45 解答

②

質問の訳 —— 以下の文章のうち正しくないものはどれか。

- 選択肢の訳 ——
- 1 このアイデアは環境にとって有益で、かつ利潤も生み出すと、トリトンは考えている。
 - 2 トリトンが直面している問題の1つは、回収された木材を買ってくれる企業を探すことである。
 - 3 木は、カナダ以外の多くの国の人造湖で見つけることができる。
 - 4 人造湖の冷たさと酸素の欠乏が、木材を保存する助けとなる。

解説 —— 最終段落の第2文に、その木材は品質が高いい値段で売れるとあるので、2が間違い。1と3は最終段落に、4は第2段落の後半に、それぞれ同内容の記述がある。

[B]**全訳 殺人ガエル**

カエルは一般的に無害な生き物だと思われているが、中南米のジャングルには大変危険なものがいくつか存在している。なぜならそれらは皮膚に毒を含んでいるからである。こうした毒は通常、ほかの動物にとって味が悪くなる程度のものだが、時には生命を奪えるほど強力なことがある。実際、ある種のカエルには、10人の人間を殺すのに十分な毒が含まれていると言われている。こうしたとても毒性の高いカエルは、時に「矢毒ガエル」と呼ばれている。なぜなら、狩人が矢の先をそのカエルの背中にこすりつけ、矢毒を作るからである。これらの矢はそれからジャングルでほかの動物を射るのに使用される。

かつて矢毒ガエルについて1つ謎だったことは、それが動物園で育てられたときには毒を持たないということだった。1990年代の初め、アメリカ人研究者のジョン・デイリーは、その理由はジャングルにいるそのカエルは自分たちが食べる虫から毒を得て、それを皮膚に蓄えておくからだと主張した。デイリーの研究チームが、ジャングルに住む虫がカエルと同じ毒の多くを持っていることを発見した時、この考えは立証された。それに対して動物園で暮らすカエルは、それとは異なった虫を食べるので、毒を持つようにはならないのである。

後にデイリーのチームは、何種類かの矢毒ガエルについて、もう1つの驚くべき発見をした。実験で、研究室の中で虫にプミリオトキシン251Dと呼ばれる毒を吹きかけ、そしてそれを矢毒ガエルに食べさせた。科学者たちが後にそのカエルの皮膚からサンプルを採取した時、彼らは虫から得られた毒の多くが別の種類の、そしてはるかに強力な毒に変化していることを発見したのである。これらのカエルには毒を集めて蓄えておく能力だけではなく、その化学組成をも変えてしまう能力があることがわかったのだ。

これらのカエルは危険かもしれないが、カエルたち自身もまた危機に直面している。彼らが暮らすジャングルの多くで木が切り倒され、彼らの住み家が、そしてまたカエルたちも、消え去っているのである。科学者たちはこれらのカエルの保護を試みるのが重要であると言っている。それはカエルたちのためだけではなく、カエルたちが作る化学物質が人間のための新しい薬品の開発にと大いに役に立つ可能性があるからである。

37 解答 ④

質問の訳 —— 矢毒ガエルは

- 選択肢の訳 ——
- 1 食べると味が悪いが、それ以外は無害である。
 - 2 彼らがほかの動物を殺す方法からその名が付けられた。
 - 3 その毒のせいでしばしばほかの動物に殺される。
 - 4 中南米のジャングルの狩人に利用される。

解説 —— 第1段落の最後の2つの文で、カエルの毒が矢毒に利用され、それが名前の由来であることが説明されている。

38 解答**2**

質問の訳 —— ジョン・デイリーは矢毒ガエルが

- 選択肢の訳 ——
- 1 毒を持つ虫を皮膚に蓄えていると主張した。
 - 2 その毒をジャングルの虫から取っていると主張した。
 - 3 動物園でジャングルと同じ虫を食べていると主張した。
 - 4 動物園で育てられると、より毒性が高くなると主張した。

解説 —— 第2段落の第2文でデイリーの主張した内容が、次の文でそれを立証した過程が記述されている。1は一見して間違いやすいが、これでは皮膚に虫そのものを保有していることになるので、引っ掛からないように注意。

39 解答**2**

質問の訳 —— 矢毒ガエルについてジョン・デイリーのチームが成し遂げた2番目の驚くべき発見とは何か。

- 選択肢の訳 ——
- 1 矢毒ガエルはプミリオトキシン251Dで殺すことができない。
 - 2 矢毒ガエルは体内で毒を変化させることができる。
 - 3 矢毒ガエルは皮膚の組成が変わると死ぬ。
 - 4 矢毒ガエルは有毒物質が吹きかけられた虫を食べようとしない。

解説 —— 第3段落で実験の過程、カエルの持つ毒が虫の毒よりも強力になったこと、そしてカエルが体内で化学組成を変える能力を持つことに気づいたことが説明されている。

40 解答**1**

質問の訳 —— 矢毒ガエルを守ろうとする理由の1つは何か。

- 選択肢の訳 ——
- 1 人々が新しい薬品を開発することの助けとなるかもしれないから。
 - 2 人間にとって有毒な虫を食べるから。
 - 3 その生息場所が危険な薬品によって破壊されているから。
 - 4 科学実験のせいでその数が減っているから。

解説 —— 最終段落の最後の文から、正解が1だとわかる。この文では not only ~ but also の構文が使われているので、注意して意味をとろう。

[C]

全訳 スラッシングで通勤

アメリカ合衆国におけるハイウェイの混雑のおかげで、これまで長い間多くのアメリカ人にとって車で仕事へ行き来することは、のろのろとしていらいる体験であった。約30年前、アメリカの政府機関はいくつかのハイウェイに高収容車（HOV）車線を導入し、交通量の軽減を図った。これらの車線は3人以上が乗った車専用であった。HOV車線を使う車の数が少ないので、この車線の交通はほかの車線よりも速やかだった。政府のねらいは、友人や同僚と一緒に職場へ通うことで、使用されるガソリンの量を減らすことであった。

しかし、HOV車線が首都ワシントンと郊外を結ぶいくつかのハイウェイに設定されて間もなく、予想されていなかったことが起こり始めた。単独のドライバーが、この速度の速い車線を利用するために、バス停で待っている見ず知らずの人を車に乗せ始めたのである。この行動は「スラッシング」の名で知られるようになり、徐々に人気が高まっていった。現在では、数多くのいろいろなルートがあり、その特定の乗降地点には「スラッグ」たちが車に乗せてもらうために忍耐強く並んで待っているのが見受けられる。政府はスラッシングを積極的に奨励してはいないが、何人かの個人がウェブサイトを立て上げ、そこでスラッグ・ルートの詳細を紹介し、より多くの人々に利用するよう勧誘している。

時が経つにつれ、スラッシングをより安全かつ快適なものにするために、数多くのルールが作られてきた。乗車地点に到着した時には、ドライバーはスラッグに行きたい場所を聞くのではなく、まず自分の行き先を叫ぶ。ドライバーのことを怪しいと思ったとき、もしくは後に女性がたった1人で置き去りになるときには、スラッグは乗車を断ることができる。車内では、ドライバーが会話を始めない限りは話をしない。また、お金のやりとりは行わない。乗車の終わりには、ドライバーとスラッグの全員が「ありがとう」と言う。

スラッシングにより皆が利益を得ている。スラッグを乗せるドライバーは職場により速く行くことができる。自分の車を町中に持ち込まないので、スラッグは燃料と駐車にかかるお金を節約できる。また、スラッシングは道路上の車の数も減らすのである。それゆえ、首都ワシントンの通勤者の多くが今では理解しているように、スラッシングで

職場に通うことは、環境の改善に役立つ素晴らしい方法なのである。

41 読解 ②

質問の訳 —— アメリカ合衆国では約 30 年前

- 選択肢の訳 ——
- 1 車で仕事に通うことはのろのろとしていらいる体験ではなかった。
 - 2 最低 3 人を乗せている車専用の車線が作られた。
 - 3 政府機関はより多くの車にハイウェイを使ってほしいと思っていた。
 - 4 政府機関は交通量を減らすために新しいハイウェイを建設した。

解説 —— 第 1 段落で HOV 車線について説明されている。本文の with three or more people が、正解では carrying at least three people と言い換

えられていることに注意。more than three だと3は含まれないことになるので、3（人）以上は three or more という表現になる。

42 解答 ①

質問の訳 ——— HOV車線が導入されて間もなく何が起こったか。

- 選択肢の訳 ———
- 1 ドライバーたちはバス停で待っている人たちを車に乗せ始めた。
 - 2 バス路線に関する情報を提供するウェブサイトが発達した。
 - 3 政府はスラッグのための数多くの乗車地点を設定した。
 - 4 より多くの人々が車の代わりにバスで通勤し始めた。

解説 ——— 第2段落の第1文に「予期せぬことが起こった」とあり、続く文でその内容が説明されている。第2段落最後の文に政府は積極的に奨励しなかったとあるので3は間違い。ウェブサイトが提供したのはスラッグのルートなので2は違う。4に関する記述はない。

43 解答 ④

質問の訳 ——— スラッグのルールによると

- 選択肢の訳 ———
- 1 スラッグが「ありがとう」と言わなかった場合、ドライバーは乗車料金を取ってもよい。
 - 2 まずスラッグがドライバーに行きたいところを告げるべきである。
 - 3 ドライバーが女性の場合、スラッグは乗車を拒むべきではない。
 - 4 会話はドライバーによってのみ始められるべきである。

解説 ——— 第3段落第4文から正解が4であるとわかる。第3段落ではいろいろなスラッグのルールが記されているので、しっかり理解しよう。

44 解答 ②

質問の訳 ——— スラッグの慣行は

- 選択肢の訳 ———
- 1 現在ドライバーが駐車にかける費用が少なくてすむことを意味する。
 - 2 人々のお金を節約し、環境を救う。
 - 3 ドライバーがより長距離を通勤することを可能にする。
 - 4 政府がより多くのバス停を建設することを可能にした。

解説 ——— 最終段落でスラッグのメリットが解説されている。なお、slugには「(バス乗車の際に使われた) 偽造コイン」の意味があり、あるウェブサイトによると、バス停に並びながらバスに乗らない人々をバス運転手が slug と呼び始めたのだそうだ。

45 解答 ③

質問の訳 ——— 以下の文のうち正しいものはどれか。

- 選択肢の訳 ———
- 1 HOV車線は政府によって積極的に奨励されなかった。
 - 2 HOV車線はアメリカのハイウェイをより安全にするために導入された。
 - 3 スラッグに乗せたドライバーは、目的地により素早く到着できる。
 - 4 スラッグは、もうこれ以上首都ワシントンで働きたくないと思っていた人たちによって始められた。

解説 ——— このようなある独特な習慣・方法を説明した文章では、それがどのような仕組みで行われるのか、その利点・欠点は何かをたどりながら読み進めていくことが大切だ。

[B]**全訳 十代の法廷**

多くの国々において、人々は十代の若者による犯罪の通常の扱い方に対して不満を持っている。例えばアメリカ合衆国における従来の裁判と刑罰のシステムは、遅くて効果がないとしばしば批判されてきた。裁判官が刑罰を決めるのに、十代の犯罪者は数か月間待たなければならないことも多い。しかも、多くの十代の若者はその後も同じ犯罪をただ繰り返すので、こうした処罰はそれほど効果がないように思われる。しかしここ10年間にわたり、アメリカ全土の地域社会で十代の若者による微罪に対する新しいアプローチが試み始められている。それらを取り扱う「十代の法廷」として知られているものが導入されているのである。

典型的な十代の法廷では、犯罪者は同じ十代の陪審員団の前に連れて来られる。陪審員たちは申し立てを聞いた後、どのような処罰が適当かを決める。処罰には地域奉仕、謝罪の手紙を書くこと、将来の十代の法廷で陪審員を務めることなどがある。犯罪者にとって、十代の法廷には従来のシステムと比べて数多くの利点がある。法廷がはるかに早く済むだけではなく、処罰が犯罪者のライフスタイルや置かれた状況を理解できる他の十代の若者によって決められるのだ。さらに、もし犯罪者が処罰をきちんと完了すれば、彼もしくは彼女には前科がつかない。十代の犯罪者には第2のチャンスが与えられるのである。

このシステムには地域社会にとっても利点がある。もちろん、従来のシステムよりもはるかに費用が安い。さらに、このシステムを採用している多くの地域社会では、このシステムにより、捕まった後に犯罪を繰り返す十代の若者の数が減っていることが報告されている。十代の法廷は、それが犯罪者に自分の犯した犯罪が地域社会に対しどのような影響を及ぼすのかを教育するので、従来の法廷よりも効果的であると信じられている。十代の若者はまた、大人の意見よりも、他の十代の若者の意見の方を、より注意し

て聞くことが多い。同時に、法廷に参加した十代の若者もまた、どのようにして法律が機能するかについて多くのことを学ぶことができる。彼らには他の十代の若者を助け、自分たちの住む地域社会に対し責任を持つ機会が与えられるのである。今日、アメリカ合衆国では890以上の十代の法廷のプログラムが実施されており、この数は将来さらに増えると予測されている。

37 解答 **(2)**

質問の訳 —— アメリカ合衆国における十代の若者による犯罪を取り扱う通常の方法は
 選択肢の訳 —— 1 過去10年にわたり徐々に導入されてきた。

- 2 犯罪者が犯罪を繰り返すのを防止できないことがしばしばある。
 3 とても遅いが効果的であるとよく言われている。
 4 裁判官が参加することを必要としていない。

解説 —— 第1段落第4文で、同じ犯罪を繰り返すので従来の処罰は効果がないであろうことが書かれているので、**2**が正解。同段落をよく読むと、他の選択肢を否定する内容が書かれているのがわかる。

38 解答 (3)

質問の訳 —— 十代の法廷の利点の1つは何か。

- 選択肢の訳 ——
- 1 犯罪者には自分自身の処罰を選ぶ機会が与えられる。
 - 2 十代の若者は、自分の処罰を完了しなくても、前科がつくことを避けることができる。
 - 3 陪審員は、適切な処罰を決めることのできる同じ十代の若者からなる。
 - 4 もし謝罪の手紙を前もって書けば、犯罪者は十代の法廷に出る必要がない。

解説 —— 第2段落の前半で十代の法廷のシステムが、後半で犯罪者にとっての利点が説明されている。第4文で、犯罪者のライフスタイルや置かれた状況を理解した同じ十代の若者が処罰を決めることが利点と記されている。

39 解答 (1)

質問の訳 —— 多くの人々は十代の法廷が

- 選択肢の訳 ——
- 1 十代の若者が自分たちの行為の影響を理解する助けになると信じている。
 - 2 従来のシステムより費用が安くなりそうもないと信じている。
 - 3 結局は従来のシステムに取って代わられるであろうと信じている。
 - 4 大人が言わなければならないことを聞かないように十代の若者を仕向けていると信じている。

解説 —— 第3段落第4文に、正解と同じことが書かれている。本文の *educate the offender about the effects* という表現が、正解 1 では *help teenagers understand the effects* と言い換えられている点に注意。

40 解答 (3)

質問の訳 —— 以下の文のうち正しくないものはどれか。

- 選択肢の訳 ——
- 1 十代の法廷のプログラムの数はこれからもおそらく増え続けるであろう。
 - 2 十代の法廷の参加者として、若者たちはどのようにして法律が機能するかを学ぶ機会を得る。
 - 3 典型的な十代の法廷の処罰では、犯罪者は従来の法廷で陪審員を務めるよう言い渡されることがある。
 - 4 十代の法廷が効果的なのは、1つには犯罪者がたいいてい他の若者たちの意見は注意して聞くからである。

解説 —— 第2段落の第2文に、処罰の1つとして十代の法廷の陪審員になることが挙げられている。従来の法廷ではないので 3 が正解となる。1 は第3段落最後の文、2 は第3段落第6文、4 は第3段落第5文に同内容の記述がある。

[C]

全訳 青い体液のカニ

カブトガニは今日でも世界に生存している動物の中で最も古い種の 1 つである。この海生生物は人類—もしくは恐竜さえも—が存在する以前に出現した。カブトガニはその時以来ほぼ同じままでいるので、時には「生きている化石」と呼ばれる。カブトガニには注目すべき特徴がたくさんある。例えば、カブトガニは食物なしで 1 年間生き延びることができる。また、カブトガニの体液の色は青である。今日、科学者たちはこの古代の生物をととも現代的な用途に使っている。

科学者たちは特に、カブトガニの体液中に含まれている諸酵素を使うことに関心を抱いている。これらの酵素は、有害な細菌を発見すると、反応を起こして体液細胞を互にくっつけて、その動物自身を守ることを可能にする。その酵素をこの生物から取り出す手順は比較的簡単である。生きているカブトガニが集められ、針を直接心臓に刺すことで体液の一部を抜き取る。これは残酷なように思えるかもしれないが、ほとんどのカブトガニは無事に海へと戻されるのだ。そして酵素が体液から取り出され、フリーズ・ドライによって粉にされる。この粉はリムルス試験と呼ばれる検査に利用される。

リムルス試験は科学者たちの間では 1970 年代から利用されている。医療従事者たちは、外科用器具のような備品をチェックするのにこの試験をいつも利用している。水が器具に注がれ、そしてカブトガニの体液から作られた粉が混ぜられる。粉の中の酵素は、体内でと同様に、もし細菌と接触すると反応を起こし、その器具は使用上安全でないことが示されるのだ。現在ではアメリカの宇宙局である NASA でも、宇宙船がいかなる細菌も宇宙へ持ち込まないようにするために、リムルス試験は利用されている。

将来、NASA はこの試験を、他の惑星を探索する際にも利用するかもしれない。もし酵素が反応すれば、それはその惑星上に生命があることの証拠である。このようにして、私たちの惑星で最も古い生物の 1 つが、宇宙での新しい発見の手助けをする結果となるかもしれないのだ。



④

質問の訳 —— カブトガニは

- 選択肢の訳 ——
- 1 現代科学で利用するには古すぎる種である。
 - 2 体液を青く保つために年に 1 回食物を摂らなければならない。
 - 3 恐竜と同じ時代に最初に出現した。
 - 4 長い間基本的に変わらないままである。

解説 —— 第 1 段落第 3 文から正解が 4 だとわかる。1 は第 1 段落の最後の文や文章全体の内容を考えてありえない。第 1 段落第 2 文に恐竜の出現以前から存在していたとあるので 3 も間違い。2 を肯定する内容の記述は見当たらない。

42 解答

②

質問の訳 ——— カブトガニの体液中の酵素は何をするのか。

- 選択肢の訳 ———
- 1 体液を取り除くのを容易にする。
 - 2 細菌がその動物に害を及ぼすのを止める。
 - 3 色を変化させることで体液を守る。
 - 4 その動物が安全に海に帰るのを助ける。

解説 ——— 第2段落第2文で、酵素がどのように働くのかが説明されている。この文では順を追って詳細に解説しているが、正解の2では簡潔な記述となっている。長文では単語を追うだけではなく、要点をつかむ練習も必要だ。

43 解答

③

質問の訳 ——— リムルス試験の現在の利用法の1つは、

- 選択肢の訳 ———
- 1 カブトガニの中にいくつの酵素があるかをチェックすることである。
 - 2 医療用備品の別の用途を見つけることである。
 - 3 宇宙船に細菌が付いていないかどうかを調べることである。
 - 4 水がカブトガニが飲むのに安全であることを確認することである。

解説 ——— 第3段落最後の文から正解が3であるとわかる。なお、Limulus testのLimulusには「カブトガニ」もしくは「リムルス属(カブトガニ科の一属)」の意味がある。

44 解答

②

質問の訳 ——— 将来、NASAはリムルス試験を

- 選択肢の訳 ———
- 1 細菌を他の惑星に安全に持っていくために利用するかもしれない。
 - 2 他の惑星に生命があるかどうかを探り出すために利用するかもしれない。
 - 3 彼らが地球上の最も古い動物を守ることを可能にするために利用するかもしれない。
 - 4 他の惑星を発見するのを容易にするために利用するかもしれない。

解説 ——— 最終段落、特に第2文から正解が3だとわかる。(43)(44)ともに、正解にwhether節「～かどうか」が含まれている。このような重要構文はすぐに理解できるように学習しておこう。

45 解答

④

質問の訳 ——— 以下のカブトガニについての文のうち正しいものはどれか。

- 選択肢の訳 ———
- 1 食物なしでも生き残ることができるので、「生きている化石」と呼ばれている。
 - 2 その化石が収集され、フリーズ・ドライがなされて、粉にされる。
 - 3 リムルス試験はその体液細胞をくっつけるために使用できる。
 - 4 この古代の生物は我々が将来の発見を行うことを助けることができる。

解説 ——— 正解の4は最終段落の内容を概略として短くまとめたものだ。長文読解問題では、本文の表現がそのまま使われている選択肢に惑わされることなく、文章の要点をつかむ能力を養成することが必要だ。